

72 カンムリウミスズメ (チドリ目)

Synthliboramphus wumizusume

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:無 越冬個体群:注 通過個体群:注

◎天然記念物

環境省ランク: VU

種の概要

本州西部、四国、九州近海の離島、伊豆諸島沖、朝鮮半島南部などで繁殖し、繁殖後も多くは繁殖地周辺の海域に生息するが、一部は北海道南東部・西部から沖縄周辺の海域に渡り、越冬する。海上に生息し、主に魚類を捕食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、天売島、本州、飛島、神子元島、舩倉島、七ツ島、耳穴島、杓島、隠岐、竹島、見島、四国、権投島、ナザノハナ、サデバ、津島、幸島、二並島、九州、対馬、壱岐、小屋島、烏帽子島、男女群島、枇榔島、甌島諸島、宇治群島、伊豆諸島、奄美大島、琉球諸島、オホーツク海、日本海北部、日本海南部、太平洋北日本沖、太平洋本州中部沖、太平洋南日本沖、伊豆諸島沖、東シナ海、南西諸島沖

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

明石市、★洲本市、★南あわじ市



写真提供：出口敦司

(性別：不明)

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休 環息 境・	局 地的 繁殖	希 少
○	○	○				○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

要調査ランクから要注目ランクへ変更。

県内では1-3月に記録がある。古くは1929年3月明石沖の1羽が公表されているだけで、生息状況はわかっていなかった。最近、淡路島近海で時々観察報告があるため、要注目ランクへ変更した。

保護上の留意点

藻場の再生を含め、生息海域の海洋環境の保全が重要。また、重油や化学物質の流出などによる海洋汚染は、その生存に致命的な結果をもたらすため回避する努力が必要。